

オプトアウト(膵癌進展における Protein Kinase R の役割)

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や 通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料(組織など)を使用 します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料(組織など)利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

膵癌における Protein Kinase R の役割に関する研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 消化器・内分泌・代謝内科学

【研究責任者】日浅 陽一 (消化器・内分泌・代謝内科学 教授)

【研究の目的】日本における膵癌の死亡数は年間 3 万人を超え年々増加傾向にあります。膵癌は早期発見が困難で初診時にはすでに切除不能であることが多く、予後不良な癌の一つです。そのため膵癌に対する新しい診断法や治療法の確立が必要です。本研究で注目した Protein Kinase R(PKR)は肝細胞癌において増殖を促進することが知られている因子です。一方で他の癌腫においては増殖抑制の作用が報告されており、癌細胞の増殖、促進両面性を有しています。我々は膵癌細胞株において、PKR が発現していることを確認しました。しかし、PKR が膵癌細胞の増殖促進、抑制いずれに関与するのか、また、どのような経路、機序で関与しているかは明らかになっていません。研究では PKR および関連遺伝子の発現が膵癌の発生や進展あるいは予後に関わる因子となり得るかどうかについて膵癌組織を用いて検討したいと考えています。

【研究の方法】

(対象となる患者さん)

・2009 年 1 月～2020 年 12 月の間に愛媛大学医学部附属病院で膵臓の超音波内視鏡下生検により膵臓の組織を採取された患者さん。

・2009 年 1 月～2020 年 12 月の間に愛媛大学医学部附属病院で腓腫瘍の手術を施行された患者さん。

（利用するカルテ情報）性別、年齢、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

（利用する試料）通常の診療で使用した後に残った試料（血液、組織など）

【個人情報の取り扱い】収集した試料・情報は名前、住所など患者様を直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院 消化器・内分泌・代謝内科学 沼田 結希

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 消化器・内分泌・代謝内科学 沼田結希

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 第 3 内科医局 089-960-5308